

2003. 11. 7改定

ホタテ健康壁「あわせ」 (外壁用)

施工マニュアル

本要領書をよく読み、
施工手順に従って施工してください

本品は改良のため予告なく仕上げ要項を変更する場合があります。

ホタテ健康壁「あわせ」 外壁用

下地処理

(1) 木造下地の場合 (ラス板、耐水合板)

ラス板 (木ずり) 合板の取り付けは、「木造住宅工事共通仕様書」を守ってください。

ラス工事は「木造住宅工事共通仕様書」を守ってください。

- 1 . 材料
メタルラス・・・JIS規格品を使用してください。
- 2 . フェルト張り
 - a) 縦張りとする
 - b) 継ぎ目は・・・縦・横とも90mm以上
たるみ、しわの無いように
タッカー釘を300mm間隔に打留める
- 3 . 補強
 - a) 出隅、入隅で継ぎ目にならに用にすることを原則とする。
継ぎ目になる場合は、幅200mm以上のJISA5505
プラス1号を増張りする。
 - b) 開口部などのコーナーは150×(450～600)mmの
プラス1号を出来るだけ開口部の隅に近づけて波ラスの上に斜めに二重張りする。

(2) コンクリート、ブロック下地の場合

下地に付いたエフロレッセンス、ホコリ、油分は、ワイヤーブラシ・
左官刷毛などでよく落としてください。

下地のひび割れは、そのまま仕上げの表面に現れますので、ひび割れの処理を
行ってください。

次にシーラー塗りを行ってください。(1 回塗り)

ノボクリーンシーラー (ダイニッカ㈱) をお勧めします。
(ホルムアルデヒド放散等級 F 製品です)

施工前の注意事項【下塗り、上塗りの共通】

本材はアルカリ性の為、木部との接面は養生用テープなどで養生してください。

寒冷期は暖かい日中に施工してください。気温が5 以下になる恐れがある場合は作業を中止し、
やむを得ず作業される場合は、板囲いまたはシートなどで養生が必要です。

夏場、炎天下で作業をする場合は、覆いをするなどして、急激な乾燥を防ぐと共に、乾燥の恐れが
ある場合、適度な水打ちが必要です。

4 8 時間以内に降雨が予想される場合は、雨養生を行って、雨水が塗り壁に直接かからないように
してください。

練った材料は使い切ってください。次の材料は別の練り樽を使い、練り上げてください。
(水の引き具合が違うため、ヘアクラックの原因になります)

左官仕上げ専用材の為、吹付け仕上げなどに使用しないでください。

本材にセメント、砂など他の骨材を入れて使用しないでください。

(3) 練り

練り樽で、基準水量の水で攪拌機にて練ってください。

練りこむ時間は下塗り用、上塗り用とも3分～5分です。
攪拌後、10分間程ねかしてから作業をしてください。

下地塗り、上塗りの材料は、翌日まで残せません。練った材料は使い切ってください。

(4) 施工 / 下地塗り

1 . 木造下地の場合 (ラス板、耐水合板)

a) ラスによくからまるように、標準塗り厚 (3 mm) まで塗り付け、
平らに塗り付けた後、頃あいを見て刷毛、ホーキ、クシなどで引いて、上塗りの
くい付きがよくなるような状態にしてください。

b) 上塗りまでの養生期間は、まる1日 (冬季で2日) 以上としてください。

2 . コンクリート、ブロック下地の場合

a) シーラーが乾いてから標準塗り厚3 mmまで塗り付け、頃あいを見てムラ直しを行い、
平らにしてから刷毛引きなど表面を少し荒らしてください。

b) 上塗りまでの養生期間はまる1日 (冬季で2日) 以上としてください。

(5) 上塗り / 仕上げ

下塗の上に金ゴテで3 mm厚に平らに塗ってください。

水の引き具合を見て、表面を刷毛引き、くし引き、ワイヤーブラシ等でテクスチャを
出してください。

しつこく押さえると、浮き水のため表面にテカリが出て、光って見えるようになる
ことがあります。

製品安全データシート

製品名 ホタテ壁「あわせ 外壁用」

物質の特定	単一製品・混合物の区別	: 混合物
	含有成分	: ポルトランドセメント、無機質細骨材 再乳化粉末樹脂、ホタテ貝殻粉末
	官報公示整理番号	: シリカ 1- 5 4 8 樹脂 6- 6
	国連分類	: 危険物に該当せず
	C A S N o.	: シリカ 1 1 2 9 2 6- 0 0- 8 樹脂 2 4 9 3 7- 7 8- 8

危険有害性の分類	分類名称	: 分類基準に該当しない
	危険性	: 知見なし
	有害性	: 知見なし
	環境影響	: 知見なし

応急処置	目に入った場合	: 清浄な水で十分に洗浄し、眼科医の診断を受ける
	皮膚に付着した場合	: 水または温水を流しながら石鹸で洗い流し、状況に応じ医師の診断を受ける
	吸収した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいをし、状況に応じ医師の診断を受ける
	飲み込んだ場合	: 水または温水でよく口を洗い、可能であれば水を飲み吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける

火災時の処置	消化方法	: 不燃物質であり、製品による火災は起こり得ない
	消 化 剤	: 不燃物質であるため必要としない

漏出時の措置	飛散した粉末は掃除機などで吸い取って回収する。床面等に付着したものは水道水で洗浄し、濃厚な洗浄水は中和処理し、河川等に流出しないような対策をとり、回収する。
--------	--

取扱い及び保管上の注意	取扱い	: 目・皮膚及び衣類にふれないよう、保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク等を使用する 取扱い後は、顔、手、口等は水で洗淨する。
	保 管	: 開封後の材料は使いきるようにする。 粉体はセメントと同様、湿気の少ない場所にパレット等を敷き、床面とはなして保管する。

暴露防止措置	(普通ポルトランドセメントに準ずる)	
	管理濃度 (労働安全衛生法・作業環境評価基準):	2 . 5 m / m ³
	許容濃度	日本産業衛生学会 (1 9 9 9 年度版): 第 2 種粉塵
		吸入性粉塵 1 m g / m ³
		総粉塵 4 m g / m ³
	設備対策	室内作業の場合は粉塵濃度が許容量以下になる能力を有する 換気装置を備える、多量に取扱う場合は集塵機を設置する
保護具	呼吸用保護具	: 着用が好ましい
	保護眼鏡	: 着用が好ましい
	保護手袋	: 着用が好ましい
	保護衣	: 着用が好ましい

物理・化学的性質	外観等	: 白色粉体
	揮発性	: なし
	融 点	: 1 3 5 0
	比 重	: 3 . 0 ± 0 . 5
	初留点	: -
	溶解度	: 水に難溶性
	その他	: 水硬性、酸性物質に溶解する

危険性情報 (安全性・反応性)

引火点	: なし
発火点	: なし
爆発限界	上限 : なし 下限 : なし
可燃性	: なし
発火性 (自然発火性、水との反応性)	: なし
酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
粉塵爆発性	: なし
安定性・反応性	: 水と反応して硬化
その他	: 通常の手扱いにおいて安定で危険性はない

有害性情報	水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性（pH 10以上）を呈し、目や皮膚を刺激する。また長時間付着した状況では皮膚に炎症を起こすことがある。多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。
環境影響情報	分解性：知見なし 蓄積性：知見なし 魚毒性：知見なし その他：接触水はアルカリを呈するので環境に影響を及ぼさないように注意する
廃棄上の注意	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処理を行う 廃棄物の処理や洗浄水の排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に基づき処理を行う
輸送上の注意	粉塵のたたない方法で輸送、破れ、落下、損傷がないよう荷崩れ防止、湿気、水漏れのないよう配慮する
適用法令	粉塵傷害防止規則、じん肺法

ここに記載された情報は当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完璧さ、正確さ、安全性を保証するものではありません。この種の製品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適性に関する決定はユーザー各位の責任において行ってください。